

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：兵庫県

協定締結日：2017/4/24

連携先窓口：兵庫県農政部 菅村課長

担当教員（所属）：醸造科学科 穂坂賢

活動体制（単位）：学科

関連教員（所属）：醸造科学科 進藤斉、徳岡昌文

活動目的：

学生への酒造好適米（山田錦）の特性についての特別講義および酒類製造実験における山田錦の提供

活動内容・成果：

兵庫県農業試験場の研究員および JA 兵庫の酒米の担当者による山田錦の育種、特性および生産についての講義を3年生の授業1コマであるが実施して頂いた。醸造科学科においては、お米の育種や生産と行った栽培学の講義がないため、有意義な講義であった。また3年後期の実験（酒類生産科学実験）では、清酒の製造実験を行う。この際の使用米に山田錦（600kg；玄米）の提供を頂き、学内の精米機にて65%まで精米した米で実験を行うことができた。昨年（2018年）までは、一般の加工用米を用いて実験を行っていたが、山田錦を使えてことより、学生の酒類製造への取り組む意識が変わったように思われる。最高級米を使ったことによる、学生のやりがいにつながったものと思われる。

さらに3年後期の醸造科学特別実習において、兵庫県姫路市にある酒造会社（本学卒業生の会社）にて、男子学生2名であるが実習を実施した。毎年の実習先であるが、連携の1つとしている。

課題・改善点：

特別授業においては、穂坂の担当する授業（3年前期授業）の1コマであったが、このような特別授業においては、全学年にまたがった形で実施できるよう努めたい。また実験用のお米の提供は、2020年度も引き続きお願いしているが、今後も継続して提供頂ければと思う。実習先の協力も継続頂きたい。

その他の連携に伴う活動については不明であるが、醸造をキーワードに交流できればと考えている。

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：兵庫県

協定締結日：2017/4/24

活動状況：継続中

連携先窓口：兵庫県立森林大学校

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：上原 巖（森林総合科学科）

活動体制（単位）：個人

関連教員（所属）：兵庫県立森林大学校 岩成麻子先生

活動目的：講義および実習担当

活動内容・成果：兵庫県立森林大学校2年生を対象に、「森林療法学」を本年度も担当し、講義と実習を行った（2009年12月18日～19日）。

課題・改善点：

本学と兵庫県との広域連携の一環として、2018年度より、講義・実習を担当しているが、今後はこの事業を継続しながらも、兵庫県内の森林・林業の振興や再造林、森林保全、保健休養面などでの連携も推進していきたい。

<別紙資料> 兵庫県立森林大学校での講義および実習（2019年12月18日～19日）



室内におけるカウンセリング・ワーク



屋外におけるカウンセリング・ワーク



野外における実習（除伐、間伐、枯損木の除去）



作業後の端材を活用した芳香水の製作

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：兵庫県

協定締結日：2017/4/24

活動状況：継続中

連携先窓口：兵庫県 企画県民部 地域創生課

活動資金：補助金

担当教員(所属)：宮林茂幸(地域創成科学科)、上原巖(森林総合科学科)、穂坂賢(醸造科学科)、栗野隆(造園科学科)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：大浦裕二(エクステンションセンター長、食料環境経済学科)

活動目的：

- (1) 次代を担う人材の育成に関する地域連携
- (2) 学術・研究・広報に関する地域連携
- (3) 産業・科学技術の振興に関する地域連携
- (4) 雇用の創出に関する地域連携
- (5) 地域の活性化または交流の拡大に関する地域連携

2019年度は、本報告書執筆者(造園科学科・栗野隆)が依命留学中であったため、特に、兵庫県との連携に関する活動目的は記載できませんでした。

活動内容・成果：

以下は、兵庫県支部HPから連携に関する内容を抜粋したものです。

- (1) 次代を担う人材の育成に関する地域連携
- (2) 学術・研究・広報に関する地域連携
 - ・造園科学科ランドスケープデザイン研究室の夏季フィールドウォッチングゼミ
 - 実施時期：2019年9月1日～3日、参加者約40名(造園科学科ランドスケープデザイン研究室学生、金子忠一教授、阿部伸太准教授、福岡孝則准教授、兵庫県支部・藤本春雄幹事(造園部会担当)、割田氏、竹田氏)
 - 成果：フィールドウォッチングとゼミ発表会で討論し、有益な意見交換がおこなわれた。
- (3) 産業・科学技術の振興に関する地域連携

- ・醸造科学科における兵庫県の酒米「山田錦」の連携講座
実施時期:2019年5月30日、参加人数約150名(醸造科学科の3年生)、
講師:兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部・
杉本琢真課長、J A全農兵庫県本部米麦部・土田部長、桐山米麦課長、エ
クステンションセンター・大浦センター長、醸造科学科・穂坂教授。
成果:醸造科学科学生への「山田錦」の特性解説を通じ、兵庫県の普及啓
発に寄与した。

(4) 雇用の創出に関する地域連携

- ・兵庫県職員採用試験説明会の開催
実施時期:2019年5月23日、参加人数6名(農学科5名、畜産学科1
名)
成果:兵庫県職員の採用試験について椿野幹事長が説明し、兵庫県出身以
外の学生も兵庫県職員採用試験を受験することを決心するなど、雇用の
創出に向けた一定の成果を得た。

(5) 地域の活性化または交流の拡大に関する地域連携

第41回兵庫県民農林漁業祭への出展

実施時期:2019年10月19・20日、参加者人数:不明(エクステンショ
ンセンター・小林順次長、メルカード東京農大・高橋さん(国際食料情報
学部3年)、米田さん(応用生物科学部3年))

成果:農大の紹介やカムカムドリンクなどの農大グッズの販売を実施し
たほか、校友会兵庫県支部では卒業生が県内で経営する酒蔵15社の銘酒
の有料試飲を実施し、好評を博した。

課題・改善点:兵庫県、本学校友会兵庫県支部、本学との連携により、本学の特
性を生かした活動が推進できた。筆者(造園科学科・栗野隆)は活動にかかわる
ことが出来なかったため、今後、積極的に取り組んでいくこととしたい。